

# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	27	都市基盤整備
基本方針		
駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	完了
<a href="#">都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討</a>	計画を見直し完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">大規模商業施設出店等に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)</a>	計画を見直し完了	A	A	A	レベルアップ

## 3 施策評価結果

<p>施策27「都市基盤整備」では、7事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「良好な居住環境の整備」などの5事業は、「計画どおり完了」であり、「中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」では、引き続き課題の整理などに取り組む必要があること、また、「大規模商業施設出店等に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)」では、当該地における今後の事業の進捗状況により、新たに関係機関等と協議・調整が生じることから「計画を見直し完了」としており、一部に課題はあるものの事業は順調に履行できている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図る」ことであり、「良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)」のほか、4事業においては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、令和元年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定したことにより、事業施行期間の15年間の延伸と、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し市負担額の軽減を図るとともに、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備されており、令和元年5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進め、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施している。</p> <p>また、「大規模商業施設出店等に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)」では、新たな企業の進出に合わせた歩道整備工事が完了していることなどから、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

1.基本項目	作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課				
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地 区画整理事業の推進) ※施策19と重複	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	利便性の高い駅前市街地を再編することで、公園や緑地を計画的に配置し、都市施設と自然が調和した快適で、うるおいのある良好な居住環境の整備を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程ほか 関連例規
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	
	仮換地の指定	同左	同左	同左
	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等			
	都市整備用地の購入			

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H	人	H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	942,906	685,500	-	-
人件費(係長職)	27,049	27,049	-	-
人件費(主任・主事職)	17,757	17,757	-	-
総事業費(合計)	987,712	730,306	-	-
国庫支出金	79,500	72,900	-	-
都支出金	27,000	31,500	-	-
受益者負担額			-	-
その他特定財源			-	-
一般会計繰入金			-	-
起債			-	-
一般財源(人件費含む)	881,212	625,906	-	-
財源内訳(合計)	987,712	730,306	-	-

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	13,143	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	173,882	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,693	m <sup>2</sup> における1 m <sup>2</sup> のコストは	1,724	円

※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、新たな特定財源確保の目処がたち、事業計画変更の手続きを行い、今後、さらに計画的に事業の進展を図るための重要な局面にある。 第三次変更計画に沿って、着実に事業を履行し、引き続き、個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、推進に努めること。

②活動実績

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し、約35億円の市負担額の軽減を図った。  
また、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備の推進を図ってきたところで、今年度5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進めるとともに、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	685,500	-	685,500	535,074	78.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	5,628 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	5,628 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の手続き等</li> <li>○仮換地の指定 20件</li> <li>○建物等の移転 27棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の決定</li> <li>○仮換地の指定 21件</li> <li>○建物等の移転 25棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> <li>○宅地の整地工事1件(換地変更分)</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input type="checkbox"/>今の社会情勢に見合う事業である</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/>その他 ( )</li> </ul>	A
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>最少の人件費・事業費で事務が執行されている</li> <li><input type="checkbox"/>民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/>業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )</li> </ul>	A
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>計画の事業量に達しなかった</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>計画の事業量に達した</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>計画以上の事業量を達成した</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>事業の目標が達成された</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/>施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

本事業計画に基づき、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地空けや、区画道路を整備し権利者の移転先を確保するとともに、令和2年度の移転に向けた建物補償調査範囲を拡大するなど、快適でうるおいのある良好な居住環境及びにぎわいと活力のある中心市街地の創出に向けて、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】**

**8. 今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

東京都や教育委員会など、関係機関との連携・協力により計画的な事業推進に努めていく。  
また、事業資金である社会資本整備総合交付金、東京都補助金、起債などについては、財政担当と協議を行いながら、効率的・効果的に活用し、円滑な事業執行に努めていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画を踏まえ、引き続き関係権利者へ寄り添った丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。  
また、社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を最大限活用し、円滑な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう引き続き事業費の抑制に努めていく。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
	01					
	02					
	03					
	04					
	05					
関連課						
基本目標4 ヒトと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針 駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。

事業内容 「しらうめ保育園周辺」、「羽村駅前周辺」、「羽村大橋周辺」及び「川崎一丁目エリア」を優先的に整備する地区として、関係権利者の協力を得ながら、建築物などの移転を計画的に進めるとともに、工事区域周辺の住民に対し丁寧な説明に努め、効率的な事業の推進を図ります。

根拠法令 土地区画整理法

条例 福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程ほか 関連例規

要綱等

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	優先整備地区の仮換地指定	同左	同左	同左
	優先整備地区の移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	羽村大橋周辺 都市計画道路3・4・12号線 擁壁設置等			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)	27,049	27,049	-	-
人件費(主任・主事職)	17,757	17,757	-	-
総事業費(合計)	44,806	44,806	-	-
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	44,806	44,806	-	-
財源内訳(合計)	44,806	44,806	-	-

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 806 円  
 イ 対象者 4,200 人における1人あたりのコストは、 10,668 円  
 ウ 成果(物) 整備面積 の 出来高 423,963 m<sup>2</sup> における1 m<sup>2</sup> のコストは 106 円  
 ※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、新たな特定財源確保の目処がたち、事業計画変更の手続きを行い、今後、さらに計画的に事業の進展を図るための重要な局面にある。 第三次変更計画に沿って、着実に事業を履行し、引き続き、個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、推進に努めること。

②活動実績

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し、約35億円の市負担額の軽減を図った。  
また、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備の推進を図ってきたところで、今年度5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進めるとともに、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	5,628 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	5,628 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の手続き等</li> <li>○仮換地の指定 20件</li> <li>○建物等の移転 27棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の決定</li> <li>○仮換地の指定 21件</li> <li>○建物等の移転 25棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> <li>○宅地の整地工事1件(換地変更分)</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )</li> </ul>	<b>A</b>
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

本事業計画に基づき、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地空けや、区画道路を整備し権利者の移転先を確保するとともに、令和2年度の移転に向けた建物補償調査範囲を拡大するなど、快適でうるおいのある良好な居住環境及びにぎわいと活力のある中心市街地の創出に向けて、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】**

**8. 今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

東京都や教育委員会など、関係機関との連携・協力により計画的な事業推進に努めていく。  
また、事業資金である社会資本整備総合交付金、東京都補助金、起債などについては、財政担当と協議を行いながら、効率的・効果的に活用し、円滑な事業執行に努めていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画を踏まえ、引き続き関係権利者へ寄り添った丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。  
また、社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を最大限活用し、円滑な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう引き続き事業費の抑制に努めていく。

1.基本項目	作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課				
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) 施策19と重複	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	3	

2.事業の概要

施策の 基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	移転実施計画に沿い、計画的かつ効率的な事業を推進し、工期の短縮に向けた集団移転などの手法に取り組みます。また、事業期間と資金計画の見直しを行い、事業計画変更の法定手続きを進めるとともに、補助金制度を活用した財源の確保に努めます。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	
	関係機関との補助金に関する調整・協議	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)	27,049	27,049	-	-
人件費(主任・主事職)	17,757	17,757	-	-
総事業費(合計)	44,806	44,806	-	-
国庫支出金			-	-
都支出金			-	-
受益者負担額			-	-
その他特定財源			-	-
一般会計繰入金			-	-
起債			-	-
一般財源(人件費含む)	44,806	44,806	-	-
財源内訳(合計)	44,806	44,806	-	-

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	806	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	10,668	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,963	における1 のコストは	106	円

※ 対象者: 施行地区区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、新たな特定財源確保の目処がたち、事業計画変更の手続きを行い、今後、さらに計画的に事業の進展を図るための重要な局面にある。 第三次変更計画に沿って、着実に事業を履行し、引き続き、個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、推進に努めること。

②活動実績

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し、約35億円の市負担額の軽減を図った。  
また、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備の推進を図ってきたところで、今年度5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進めるとともに、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	5,628 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	5,628 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等	○事業計画(第3回変更)の決定

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 新たな社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業)の採択を受けた )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、数カ年にわたり国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業)の採択を受け、約35億円の市負担額の軽減を図るものである。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

1.基本項目	作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課				
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重複	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	4	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	都市計画道路3・4・12号線の整備に優先的に取り組むため、建物等の移転による道路用地空け及び羽村大橋東詰交差点周辺における擁壁設置工事の推進を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	都市計画道路3・4・12号線の用地確保	同左	同左	同左
	東京都など関係機関との都市計画道路3・4・12号線整備に向けた調整	同左	同左	同左
	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等			

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H	人	H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)	27,049	27,049	-	-
人件費(主任・主事職)	17,757	17,757	-	-
総事業費(合計)	44,806	44,806	-	-
国庫支出金			-	-
都支出金			-	-
受益者負担額			-	-
その他特定財源			-	-
一般会計繰入金			-	-
起債			-	-
一般財源(人件費含む)	44,806	44,806	-	-
財源内訳(合計)	44,806	44,806	-	-

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	806	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	10,668	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,963	における1 のコストは	106	円

※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、新たな特定財源確保の目処がたち、事業計画変更の手続きを行い、今後、さらに計画的に事業の進展を図るための重要な局面にある。 第三次変更計画に沿って、着実に事業を履行し、引き続き、個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、推進に努めること。

②活動実績

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し、約35億円の市負担額の軽減を図った。  
また、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備推進を図ってきたところで、今年度5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進めるとともに、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	5,628 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	5,628 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の手続き等</li> <li>○仮換地の指定 20件</li> <li>○建物等の移転 27棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の決定</li> <li>○仮換地の指定 21件</li> <li>○建物等の移転 25棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> <li>○宅地の整地工事1件(換地変更分)</li> </ul>

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

本事業計画に基づき、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地空けや、区画道路を整備し権利者の移転先を確保するとともに、令和2年度の移転に向けた建物補償調査範囲を拡大するなど、快適でうるおいのある良好な居住環境及びにぎわいと活力のある中心市街地の創出に向けて、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】**

**8. 今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

東京都や教育委員会など、関係機関との連携・協力により計画的な事業推進に努めていく。  
また、事業資金である社会資本整備総合交付金、東京都補助金、起債などについては、財政担当と協議を行いながら、効率的・効果的に活用し、円滑な事業執行に努めていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画を踏まえ、引き続き関係権利者へ寄り添った丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。  
また、社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を最大限活用し、円滑な事業執行に努めるとともに、市負担額の軽減が図れるよう引き続き事業費の抑制に努めていく。

1.基本項目	作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課				
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地 区画整理事業の推進) ※施策19と重複	平成 23 年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	5	

2.事業の概要

施策の 基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業 内容	「羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画」による低炭素型のまちづくりや緑地保全など、環境配慮型事業の推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	ウッドチップ舗装路の管理・ 効果の検証	表層打替え		
	稲荷緑地再生	同左	同左	同左
	事業環境に配慮したまちづ くり活動	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	H	1 人	H	1 人	H	1 人	H
主事・主任職	1 人	24 H	1 人	24 H	1 人	24 H	1 人	24 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	76	76		76
総事業費(合計)	76	76		76
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	76	76		76
財源内訳(合計)	76	76		76

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	1	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	18	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,963	m <sup>2</sup> における1 m <sup>2</sup> のコストは	0	円

※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画に基づき、各種事業を着実に進めた。  
 区画道路の整備にあたっては、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設するとともに、ウッドチップ舗装の維持管理や環境に配慮した重機の使用と工事を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	24 H	1人	24 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管の敷設 ○ウッドチップ舗装の維持管理 ○環境に配慮した重機の使用と工事の実施		○地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管の敷設 ○ウッドチップ舗装の維持管理 ○環境に配慮した重機の使用と工事の実施

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 環境に配慮した重機の使用と工事を実施している )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成30年度に引き続き、区画道路等の整備にあたっては、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設したほか、ウッドチップ舗装の維持管理や環境に配慮した重機の使用と工事を実施し、良好な居住環境の創出に取り組んだ。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

ウッドチップ舗装については、経年劣化等による剥離や摩耗などから、将来的な事業進捗の中で公園の園路やベンチの下など、関連部署と連携を図りながら活用の検討を行う。

【今後の取組方針】

本事業は、土地区画整理事業を基幹としており、基幹事業の進捗状況に合わせて成果が表れるため、今後も引き続き、環境に配慮した取組みとして公園緑地の設置や稲荷緑地の宅地化された部分の緑地の復元、街路灯へのLED照明の設置など、本事業の進捗状況に応じて進めていく。

1.基本項目	作成部署	都市建設部		都市計画課		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討 ※施策19と重複	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課	産業振興課					
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	6	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活力に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	羽村駅周辺等の有効な土地利用や都市基盤の再整備について調査・研究し、中心市街地としてのにぎわいのあるまちなみの創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	同左	まちづくりガイドラインの策定 ※事業費はガイドラインの策定内容により決定	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	80H	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	30H	1人	60H	1人	45H	1人	45H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				-
人件費(係長職)	193	385	289	289
人件費(主任・主事職)	95	190	142	142
総事業費(合計)	288	575	431	431
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	288	575	431	431
財源内訳(合計)	288	575	431	431

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

関連課及び神明台二丁目まちづくり推進会議との調整を図った。  
また、ガイドライン策定のための調整、整理を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	20H
主事・主任職	1人	60H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○検討会議 2回 ○関連課と調整 2回 ○関連する他施策との調整 2回		○関連課と調整 2回 ○関連する他施策との調整 3回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内経済の活性化など本事業の主旨とも共通している神明台二丁目まちづくり推進会議との連携を図ることにより、にぎわいの創出の検討にあたり、効率的かつ合理的な取組みの推進を図ることができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

ガイドラインは、経済状況や社会情勢の変化に柔軟な対応が図れるような内容とする。

**【今後の取組方針】**

「神明台2丁目地区のまちづくり」の検討結果を踏まえながら、羽村駅東口を中心とした都市基盤整備について、住宅、商工業、防犯、防災、子育てなど様々な視点から検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部		土木課		
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00	大規模商業施設出店等に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)	平成 26 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		都市計画課					
基本目標4		ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	7	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	羽村駅東口周辺の大規模商業施設の出店に伴い、道路や公園などの周辺都市環境の整備を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	事業者及び警視庁等関係機関との整備についての協議・調整	同左  市道第202号線歩道改修工事	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H
主事・主任職	人	H	1 人	40 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費		32,662		
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)		127		
総事業費(合計)	49	32,838	49	49
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	49	32,838	49	49
財源内訳(合計)	49	32,838	49	49

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

関係機関・事業所と周辺道路の歩道幅員の確保などの安全対策を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	32,662	-	32,662	31,070	95.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市道第202号線歩道改修工事		○市道第202号線歩道改修工事

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

開発計画に合わせ周辺道路の歩道幅員の確保などに取り組み、安全対策を図った。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

神明台二丁目地区の開発計画の動向により、道路・公園等の周辺環境の整備を推進する。

【今後の取組方針】

神明台二丁目地区で計画されている大手企業等の進出にあたり、道路・公園等周辺環境の整備を推進し、ゆとりある都市環境、商業の活性化、バリアフリー化、防災力の強化などの視点に立ち、企業の操業と市民が安全で安心して暮らせる周辺環境の整備を目指す。